

HURXLEY

証券コード 7561 東証プライム

2022年3月期  
決算説明会資料

株式会社ハークスレイ



2022年3月期 決算概要 P. 3

2023年3月期 業績予想について P.22

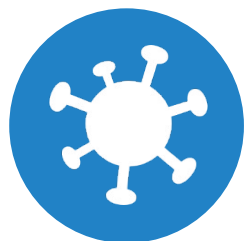
## 2022年3月期 決算概要





## 新型コロナウイルスワクチン接種の進展

- ・ 経済活動の改善が見られる




## 変異株による感染拡大

- ・ 外出自粛等の行動制限が続く
- ・ 家計所得の伸び悩みや生活必需品の物価上昇



個人消費を取り巻く環境は  
依然として厳しい



私たちは常に  
相手の立場にたって  
考動します。

私たちはいつも  
革新に努め、  
チャレンジ精神を持って  
前向きに考動します。

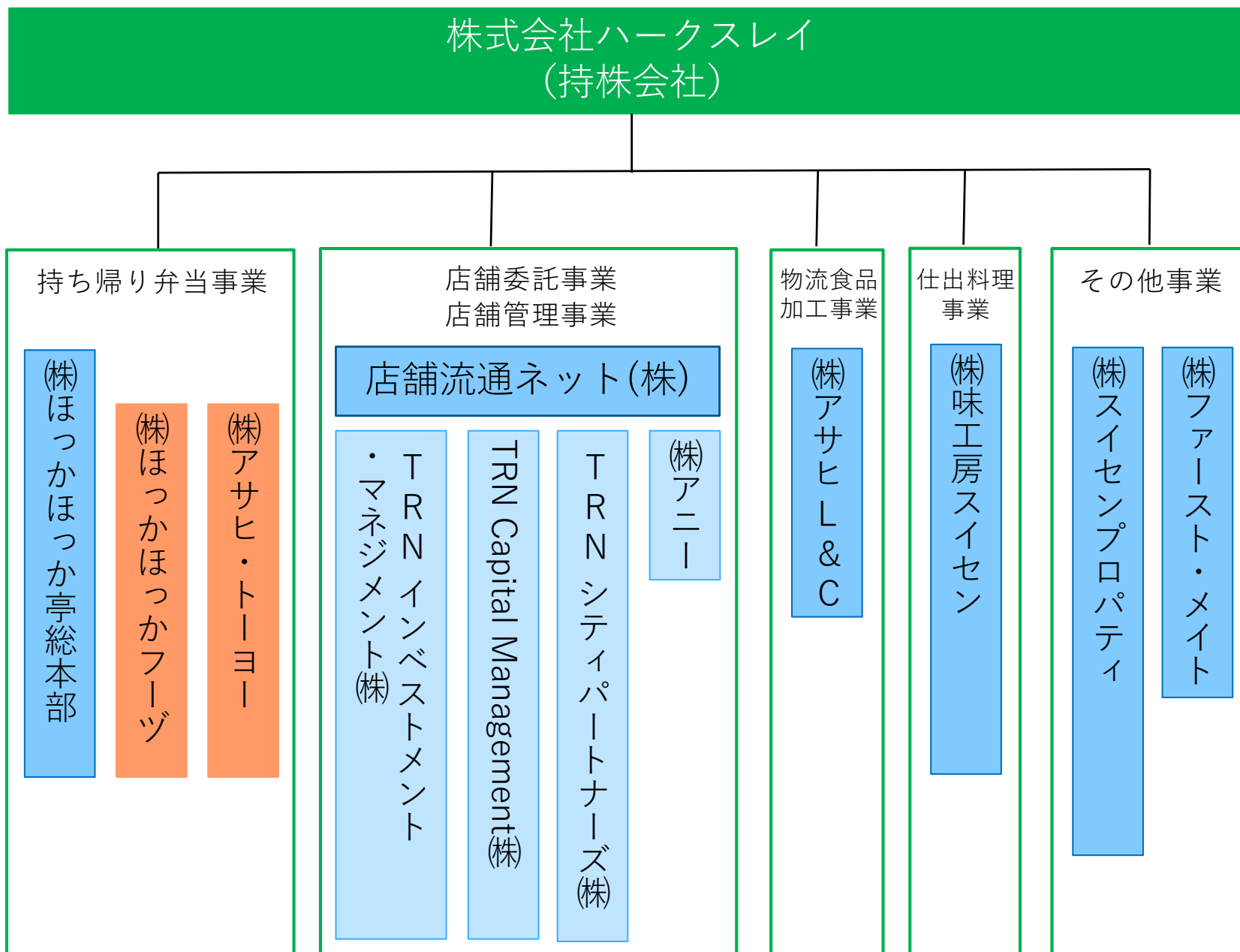
私たちは損得よりも  
先に善悪を考え、  
全ての人の健康と  
幸せを願い、  
豊かな「明日」を  
創造します。

## 主に店舗委託、店舗管理事業が好調 前期比 増収 大幅増益

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期		
			増減	前年同期比
売上高	27,593	31,732	4,138	15.0%増
営業利益	498	1,103	604	121.2%増
経常利益	923	1,379	456	49.4%増
親会社株主に帰属する当期純利益	81	978	896	1,095.2%増

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しております。  
なお、前連結会計年度については遡及適用後の数値となっております。



## キャラクターとコラボした販促キャンペーン、新商品発売キャンペーンの展開 SNS、アプリを活用したデジタル販促施策を積極的に展開

大好評  
「すみっコぐらし」  
キャンペーンを  
継続して実施

引き続き人気キャラクター  
とのコラボ企画を継続



Twitter、  
モバイルオーダー  
キャッシュレス決済  
を積極的に展開

Twitterフォロワー数  
約60万人

ほっかアプリは  
会員数59万人に

スマホで注文! 待たずに受け取り!  
モバイル  
オーダー

どこでも手軽に!



スマホから簡単に  
ご注文・お支払い



待たずに受け取り  
時間を節約!



楽天ポイントが  
使える・貯まる!





各種キャンペーンの施策の実施を積極的に行うも、  
新型コロナウイルスの影響が想定以上に長引く

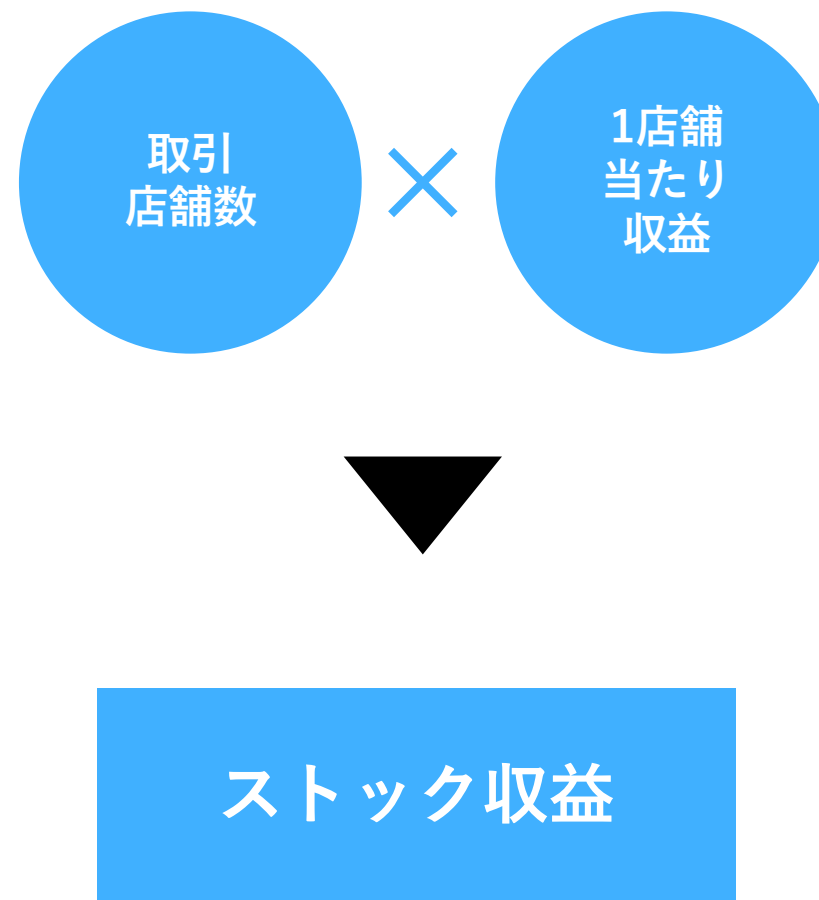
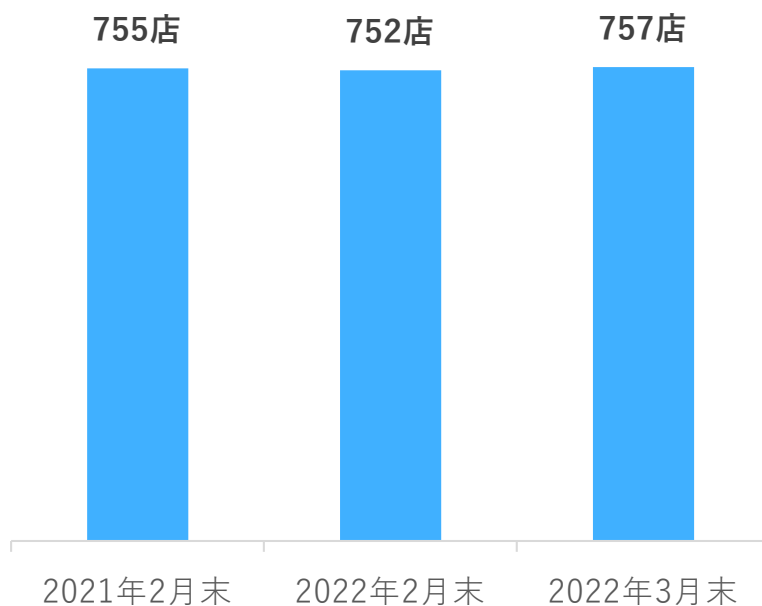
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	
	金額	金額	前期比
売上高	16,336	15,888	2.7%減
セグメント利益 (利益率)	1,227 (7.5%)	802 (5.0%)	34.7%減

- 「出前館」等のデリバリーサービスを順次導入、販促キャンペーンや新商品発売キャンペーンの実施を行い継続顧客と新規顧客の獲得に注力し売上高は前年同期並み。
- スポーツ・イベント等の大量注文等の需要が戻りつつあるが、スーパーマーケットの中食強化や外食店のテイクアウト進出、長引く在宅勤務のため内食需要が増加し、持ち帰り弁当を取り巻く環境は厳しさ増す。

# 店舗リース（店舗流通ネット株式会社）については 「取引店舗数」横ばいを維持し、安定収益を確保

取引店舗数



# グループ入りした、株式会社アニーについては 「ネット受注連動POSレジ」利用金額が増加し、収益に貢献



## ■株式会社アニーの特色、効果

- ・ ケーキ屋さんが本当に使いやすいPOSレジ（開発、提供）
- ・ 製菓業界を中心に900店舗以上の導入実績（ソリューション実績）
- ・ グループとして新規事業で顧客層拡大効果
- ・ 製菓店の出店等で既存事業とシナジー効果

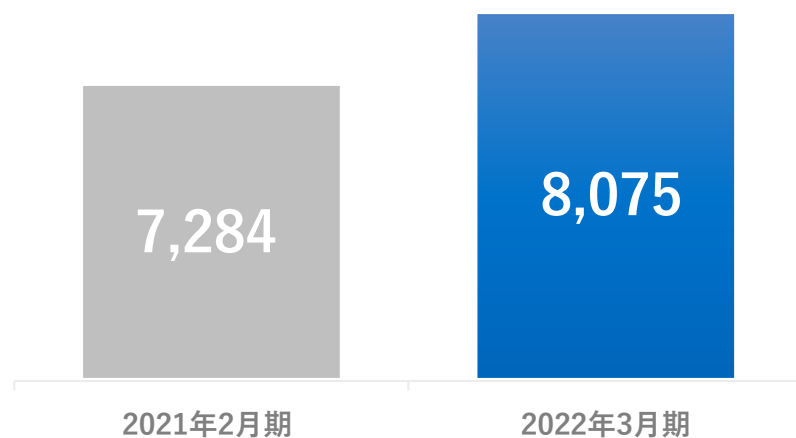
## 店舗委託事業は前期比、増益（2割超の増加）

- **店舗委託事業**
  - 飲食店業界は新型コロナウイルスの影響を受ける厳しい環境
  - その環境下で店舗リースの「取引店舗数」は横ばいを維持
  - 空店舗の水準をコロナ禍以前よりも良好な水準とし、利益率を改善

### 売上高

（単位：百万円）

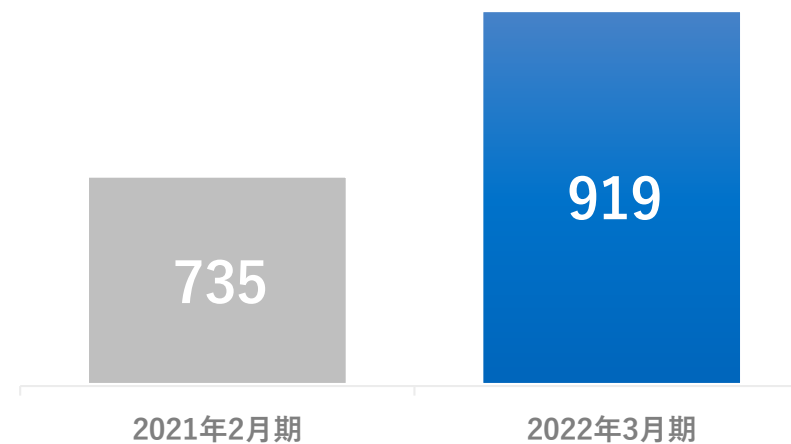
↑ **10.9%増**



### セグメント利益

（単位：百万円）

↑ **25.0%増**



店舗委託事業・店舗管理事業を営む連結子会社は、決算日を2月末から3月末に変更しております。よって、当事業年度は2021年3月1日～2022年3月31日までの13か月となっております。

## 不動産私募ファンドを組成し、販売用不動産3物件を売却 今後の販売となる店舗ビル開発も進行中

### 2021年11月にファンド組成、物件売却

- ファンドの投資対象は、駅前立地の店舗ビル。
- 店舗リーシングの強みに裏付けられた高稼働率を期待する投資家に、投資機会を提供したものの。
- そのファンドに、店舗流通ネット株式会社及びその子会社所有の販売用不動産3物件を売却。
  - ・ 名古屋市のTRUNK椿町
  - ・ 大阪市のTRUNK福島
  - ・ 川越市のTRN川越
- 販売用不動産は「開発・改修工事」や「遵法性工事」及び「テナント誘致」によって収益的価値を向上させた上で売却。価値向上（バリューアップ）の利益を売却時に実現。

### TRUNKとは

TRUNKは、商業ビルに特化した自社開発ビル。素地から新しいビルをつくり、人流を生み出すことに加え、20年以上かけて蓄積してきた店舗リーシングのノウハウでその立地に適したテナントを誘致しております。

### 2022年5月竣工『TRUNK麻布十番』

カフェや理美容等、1階から7階まで様々な業態のテナントを誘致。満室稼働予定。



### 2024年3月期竣工予定『TRUNK本厚木』

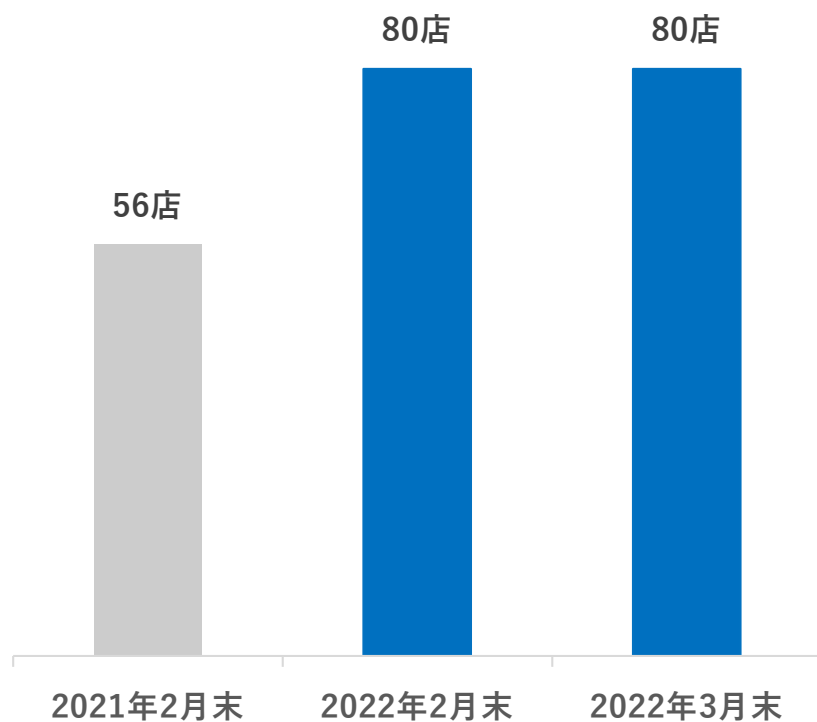


首都圏住みたい街ランキング上位の本厚木の駅前に立地。

10年後の街並みを見据え、駅出口方面、商店街方面、再開発方面の3方面に対してテナントファサードをどの角度からもしっかり見せることを心掛け、合理的な土地利用計画と視認性に配慮した意匠計画を目指しております。

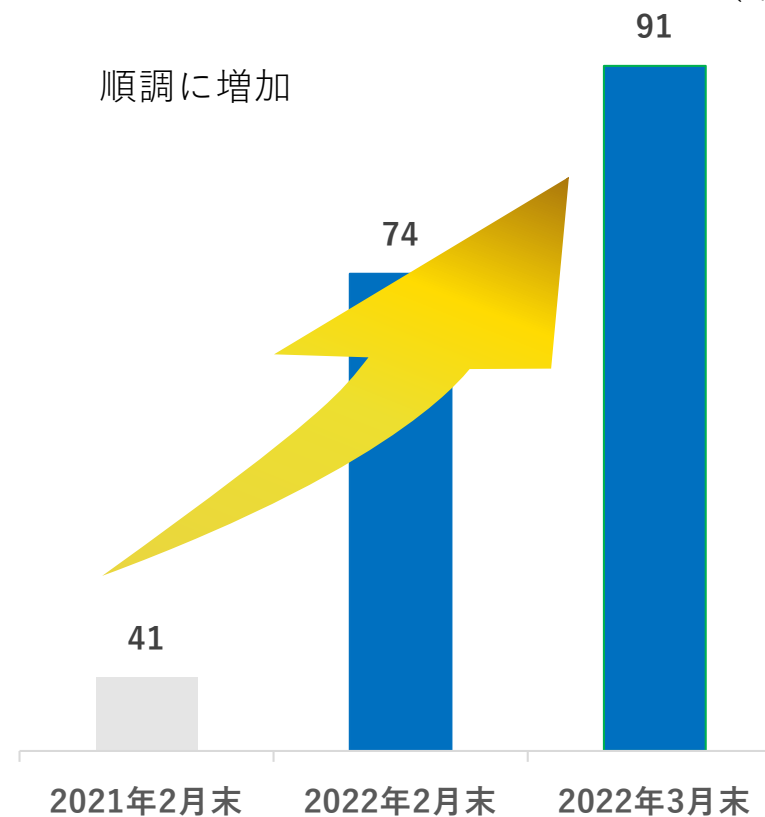
# 不動産管理、アセットマネジメントについては 「受託ストック」を順調に積み上げ、安定収益を増強

管理テナント数



ファンド契約資産額

(単位:億円)



## 店舗管理事業は前期比、大幅増益（約4倍に）

### ■ 店舗管理事業

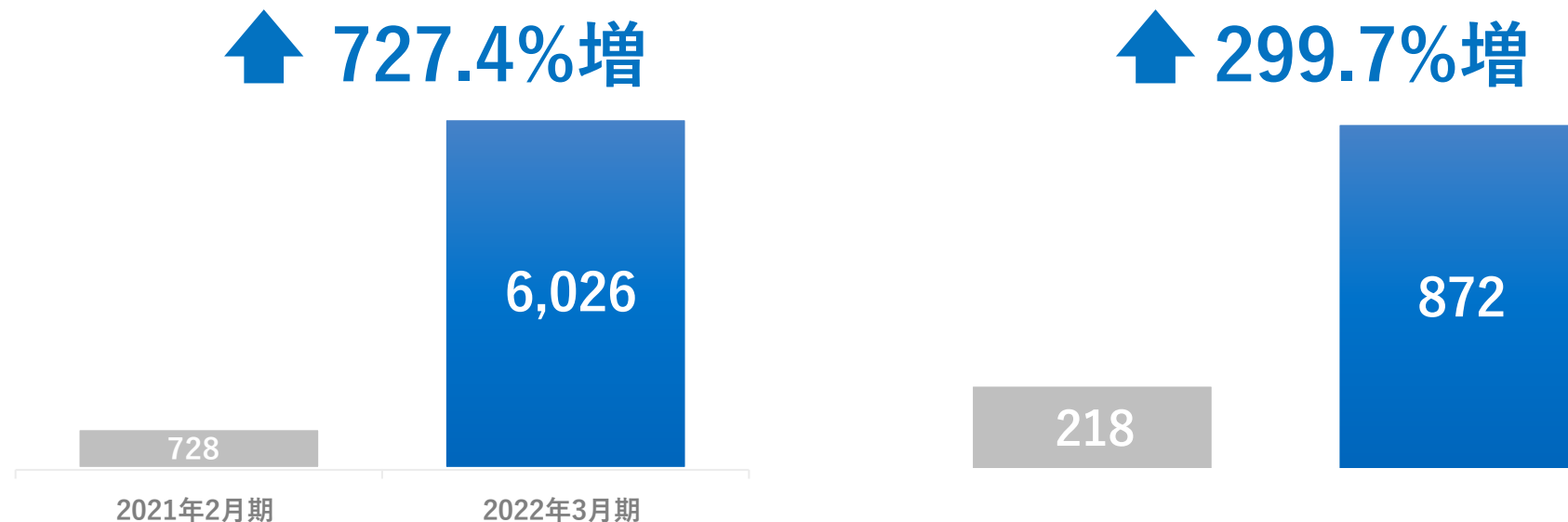
- 不動産私募ファンドを組成し、販売用不動産3物件を売却
- 今後の販売となる麻布十番、本厚木での開発案件も進行中
- 不動産管理の対象テナント数は4割増に
- ファンド契約資産額（AUM）は2倍超に

### 売上高

（単位：百万円）

### セグメント利益

（単位：百万円）



店舗委託事業・店舗管理事業を営む連結子会社は、決算日を2月末から3月末に変更しております。よって、当事業年度は2021年3月1日～2022年3月31日までの13か月となっております。

## 工場の生産効率向上を目指し、非加熱製品のみならず 新設備を導入し、加熱製品の開発にも注力



新設の加熱処理設備では、より品質の高い加熱処理が可能になり、唐揚げ以外の鶏肉製品や、牛肉・豚肉を使用した製品が開発可能



## 物流食品加工事業は 多くのユーザー、ベンダーから高い評価を得て 順調に業績を拡大

### 前期比増収も減益

- 外食・中食を問わず、顧客から高い評価をいただき、売上高は増加
- カミッサリー第2工場の稼働本格化による初期固定費発生により減益

売上高

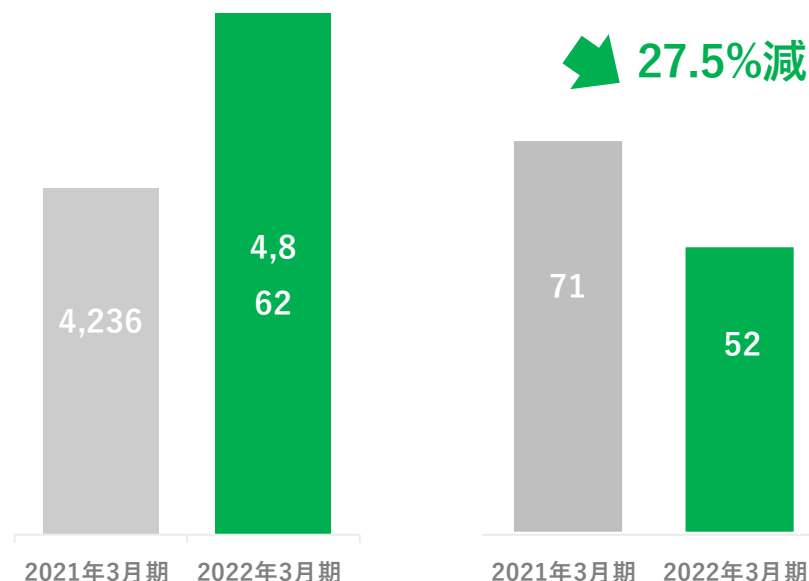
(単位：百万円)

セグメント利益

(単位：百万円)

↑ 14.8%増

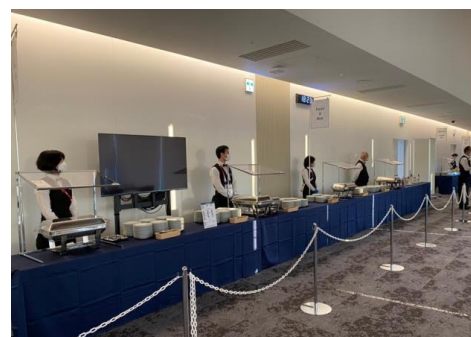
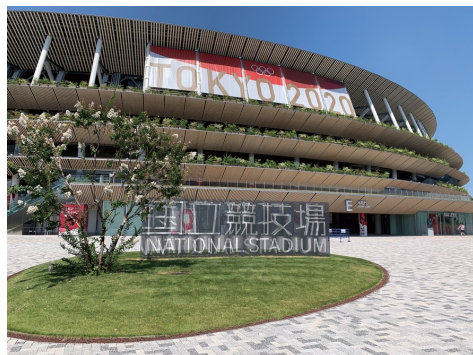
↓ 27.5%減



## 大規模スポーツイベントにて食の提供

TOKYO2020オリンピック・パラリンピック競技大会にて、オリンピックスタジアムをはじめとする10競技場に設置されたラウンジでビュッフェ形式の温かいお食事を提供

TOKYO2020オリンピック／パラリンピック



### JFA創立100周年 表彰受領



日本サッカー協会（JFA）の100周年事業コンセプト「過去への感謝、未来への決意」の具現化として、サッカーの発展に貢献したその活動を表す表彰を受賞しました。

## 新ブランド「幾重」、渋谷東急フードショーに出店

渋谷東急フードショーのしぶちかデリゾーンへスイセン初の百貨店常設店舗「幾重」を出店しました。



『幾重』とは技術と伝統の味わいが何重にも積み重なって、さらに革新を続ける店であることを意とします。

この信念を持った職人達が、フラッグシップの懐石弁当「IKUE」の他、拘りの海苔弁当を殊に現代の新たな和食文化を提案します。



渋谷東急フードショー店舗



仕出料理事業は長引く新型コロナウイルスの影響により低調に推移するも、  
TOKYOオリンピック/パラリンピックの特需、  
大型イベント需要の回復もみられ、回復の兆し

仕出料理事業

前期比増収 損失幅も縮小

売上高

(単位：百万円)

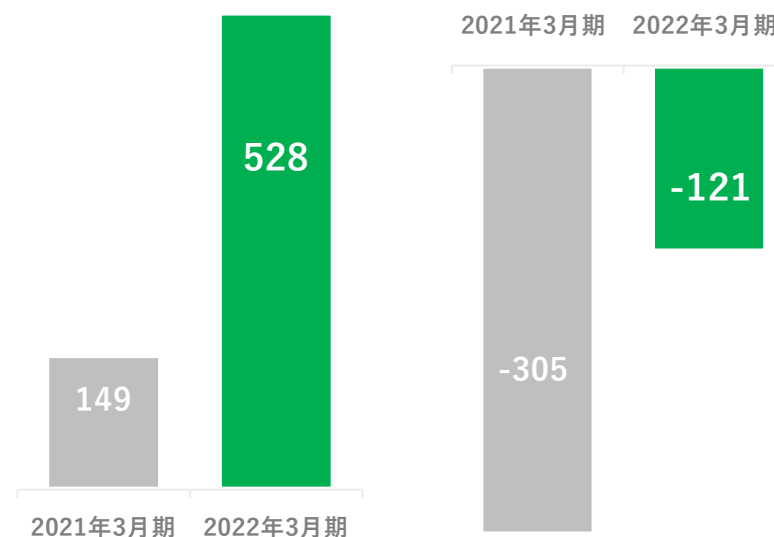
セグメント利益

(単位：百万円)

↑ 254.0%増

↑ 184百万円増

- TOKYO 2020オリンピック/パラリンピックの特需、大型イベント需要の回復もみられたが、長引く新型コロナウイルスの影響が大きく、仕出サービス、ケータリングサービスは低調に推移
- 催事惣菜サービスは渋谷東急フードショー常設店舗「幾重」は自宅でのプチ贅沢を楽しむ傾向が後押しし、業況拡大



その他事業は、TOKYO 2020オリンピック／パラリンピックの特需で売上は確保も

中止・延期イベント・行事も多く、低調に推移

緊急事態宣言解除後、各種イベント開催、パーティーの回復により食器レンタルの受注が増加

その他事業

減収増益

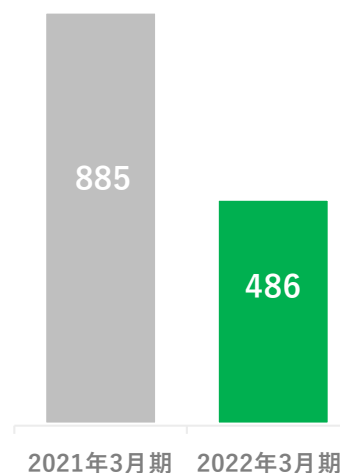
- TOKYO 2020オリンピック／パラリンピックの特需で売上は確保するも新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、中止又は延期するイベント・行事が多数あったことから低調に推移
- 10月の緊急事態宣言解除度にイベント等が増加

(注) フレッシュベーカリー関連事業のアルヘイム(株)は、2021年2月に事業を譲渡したため、売上は減少。

売上高

(単位：百万円)

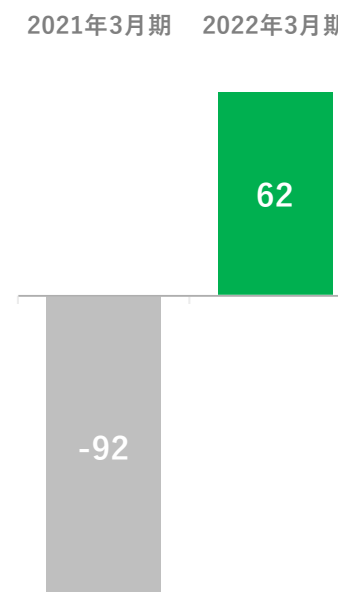
45.0%減



セグメント利益

(単位：百万円)

155百万円増





## 2023年3月期 業績予想について

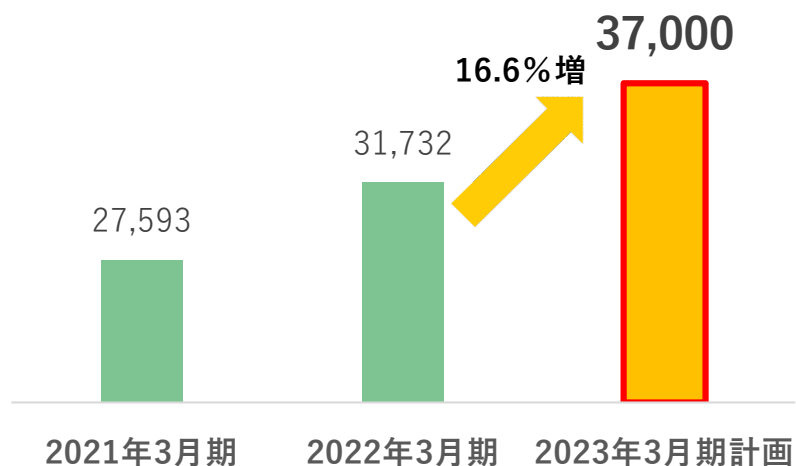


**コロナ克服で景気回復期待も  
ウクライナ情勢含む地政学リスク等により先行きは不透明  
上記環境を踏まえ業績予想を計画**

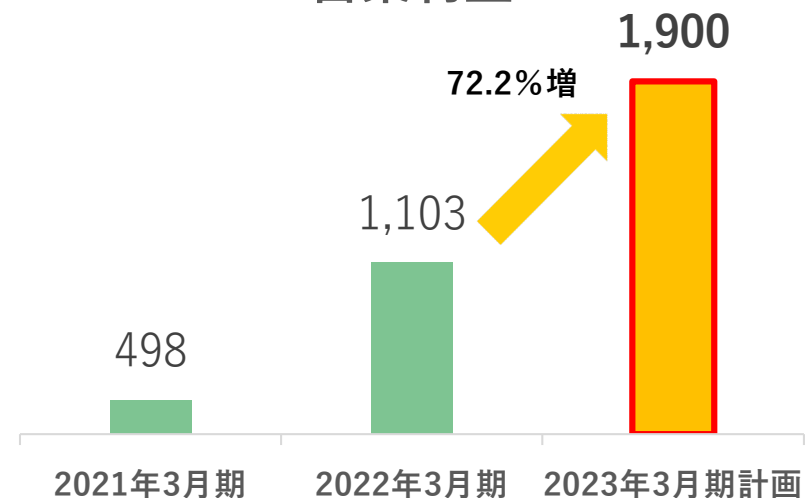
(単位：百万円)

	2022年3期 実績		2023年3期 予想		前期比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	31,732	—	<b>37,000</b>	-	16.6%増
営業利益	1,103	3.5%	<b>1,900</b>	<b>5.1%</b>	72.2%増
経常利益	1,379	4.3%	<b>2,100</b>	<b>5.7%</b>	52.2%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	978	3.5%	<b>1,600</b>	<b>4.3%</b>	63.5%増

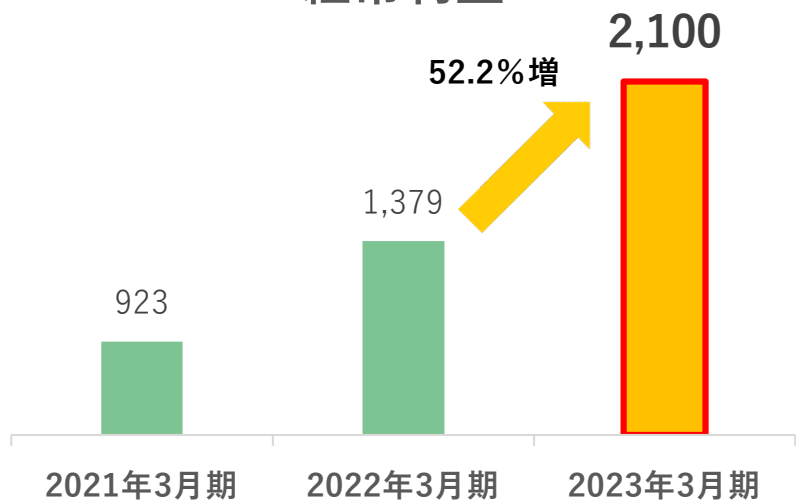
## 売上高 (単位：百万円)



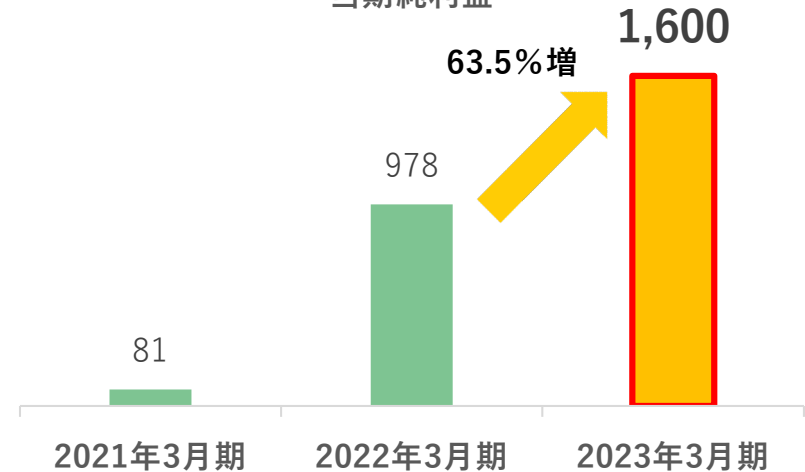
## 営業利益 (単位：百万円)



## 経常利益 (単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位：百万円)





## 株式会社ハークスレイ 経営企画室

---

**IRに関する  
お問い合わせ先**

電 話：06-6376-8088（代表）

e-mail：ir@hurxley.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。